

集落営農緊急育成サポートツール開発事業（新規）

1．趣旨

食料・農業・農村基本計画において、将来の我が国農業の担い手として集落営農が位置付けられ、集落営農の育成・確保・定着化を図ることが急務となっている。

このため、これまで普及組織が集落営農の育成支援活動において培ってきた育成のノウハウ等を調査分析し、これを基に集落営農の育成・発展を支援する指導者が支援活動の際に簡単に利用できる「集落営農緊急育成サポートツール」を開発し、集落営農を緊急に育成する。

2．事業の内容

（1）集落営農の調査分析

J A等の指導者が支援活動現場で有効な活用ができるツールを開発する観点から、集落営農の育成事例について調査・研究を行い、「集落営農緊急育成サポートツール」を開発するために必要なデータ（農家の意向、参加戸数、作目毎の作付面積、ほ場条件、資本整備、経営の発展過程等）の分析を実施する。

（2）集落営農緊急育成サポートツールの開発

集落全体の現状を把握・分析し、集落営農体制の将来像を中長期的にシミュレートする機能及び、集落営農を実践していく上で必要な経理・労務管理機能を有する集落営農緊急育成サポートツールを開発する。

3．事業実施主体 (社)全国農業改良普及支援協会、(社)日本農村情報システム協会

4．事業実施期間 平成18年度から平成19年度まで

5．補助率 定額

6．平成18年度概算決定額 55,815(0)千円

【経営局 普及・女性課、構造改善課】